

肝臓サポート

ドライ

HEPATIC

VETERINARY EXCLUSIVE



犬用 肝臓サポートは、肝疾患に伴う高アンモニア血症や肝性脳症を呈する犬に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、消化性の高い植物性タンパクを使用するとともに、銅の含有量を制限し、必須脂肪酸および亜鉛の含有量を調整しています。

成分		単位 /400kcal			
タンパク質	16.4g	カリウム	0.92g	EPA + DHA	205mg
脂肪	16.4g	リン	0.52g	L-カルニチン	30.7mg
食物繊維	7.3g	マグネシウム	0.08g	タウリン	0.22g
灰分	4.7g	鉄	16.8mg	アルギニン	1.17g
水分	9.7g	銅	0.41mg	ビタミンE	61.4mg
炭水化物	53.1g	亜鉛	24.3mg	ビタミンC	20.5mg
カルシウム	0.7g	ナトリウム	0.20g	ビタミンB群	6.08mg

代謝エネルギー … 391kcal/100g



原材料

米、コーン、動物性油脂、大豆分離タンパク(消化率95%)、加水分解動物性タンパク、ビートパルプ、大豆油、植物性繊維、魚油、フラクトオリゴ糖、マリーゴールドエキス(ルテイン源)、アミノ酸類(DL-メチオニン、L-リジン、タウリン、L-カルニチン)、ミネラル類(Ca、K、Cl、P、Na、Zn、Fe、Mn、I、Se)、ビタミン類(コリン、E、C、パントテン酸カルシウム、ナイアシン、B6、B1、A、B2、ビオチン、葉酸、B12、D3、K3)、保存料(ソルビン酸カリウム)、酸化防止剤(BHA、没食子酸プロピル)

※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

この製品の特長



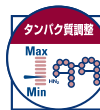
高消化性
高アンモニア血症と肝性脳症に配慮し、大豆分離タンパクなどの高消化性タンパクを使用。



銅制限
肝細胞内の銅蓄積に配慮し、銅含有量を4mg/kgに制限*。
※標準的な自社成犬用フードと比較し、約75%減。



抗活性酸素物質カケル
健康を維持するために、複数の抗活性酸素物質(ビタミンE、ビタミンC、タウリン、ルテイン)を配合。



タンパク質調整
高アンモニア血症や肝性脳症に配慮し、タンパク質含有量を16%に調整*。
※標準的な自社成犬用フードと比較し、約35%減。

この食事療法食の対象

- **高アンモニア血症および肝性脳症**
アンモニアなどの窒素性老廃物に配慮し、分岐鎖アミノ酸(BCAA)を含む高消化性の植物性タンパクを使用するとともに、適切な含有量に調整しています。また、発酵性食物繊維が腸内細菌に利用されて生成される短鎖脂肪酸は腸内pHを低下させるため、アンモニアの吸収減少が期待できます。
- **門脈シャント**
門脈圧亢進による腹水や体液貯留に配慮し、ナトリウム含有量を0.2%に制限しています。
- **銅蓄積性肝疾患**
胆汁うっ滞による肝細胞内および間質への銅蓄積に配慮し、銅の含有量を制限しています。
- **尿酸アンモニウム結石症**
尿酸のもととなるプリン体の含有量の少ない食事が推奨されます。
※継続して使用する場合も定期的な診察を奨励しています。

使用が推奨されない病態等

- **妊娠/授乳期、成長期**
タンパク、リン、銅などが不足するため推奨されません。
- **膀胱炎**
- **高脂血症**
- **軽度肝炎や空胞性肝障害など**
軽度肝炎や空胞性肝障害などでは、肝臓の回復のためにタンパク質が必要となります。このような場合、タンパク質を制限した本製品は推奨されません。

1日の給与量の目安

1カップ=200cc

成犬の体重 (kg)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	30	40
標準	45g 0.7カップ	80g 1.3カップ	110g 1.7カップ	135g 2.1カップ	160g 2.5カップ	180g 2.8カップ	205g 3.2カップ	225g 3.5カップ	245g 3.8カップ	265g 4.1カップ	360g 5.6カップ	450g 7.0カップ
調整範囲	最大	55g 0.9カップ	90g 1.4カップ	125g 2.0カップ	150g 2.3カップ	180g 2.8カップ	205g 3.2カップ	230g 3.6カップ	255g 4.0カップ	280g 4.4カップ	305g 4.8カップ	510g 8.0カップ
	最小	40g 0.6カップ	70g 1.1カップ	95g 1.5カップ	115g 1.8カップ	135g 2.1カップ	155g 2.4カップ	175g 2.7カップ	195g 3.0カップ	215g 3.4カップ	230g 3.6カップ	385g 6.0カップ

ここに表示されている給与量は使用開始時の目安です。個体差や活動量に応じて調整してください。